

事任八幡宮の歴史

令和4年11月12日(土)

天野 忍

はじめに

神社に伝わる諸資料の調査結果から、主な点を挙げて述べる。

令和元年『事任八幡宮資料目録』・令和4年『事任八幡宮資料集成』の刊行

1 古代・中世の資料から

①延喜式「己等乃麻知神社」と遠州一宮論

六国史資料、東海道の旅と記録、八幡信仰の展開

*八幡信仰と神社との関係は、いつごろから始まったのか。

②「応永26年事任本宮鱈口」の奉納

神仏習合の世界、後に静岡市井川への移転、保管

*井川へ移転・保管となった背景は、何か。

③12世紀代渥美窯産「大甕」の発見

戦国期の雨乞い、他に経筒、蔵骨器転用などの諸説あり

*雨乞い神事の実態は、どうであったのか。

④永禄12年はじめ「日坂八幡山一揆」(1569年)起こる

日蓮宗身延山久遠寺資料、今川氏真と反徳川軍の動き、敗北へ

*今川氏と神社との関係は、どうであったのか。

2 近世の資料から

①「文禄2年太閤検地帳」(1593年)と「慶長9年検地帳」(1604年)

山内一豊の検地、伊奈忠次の検地と地方巧者の活躍、八幡宮社領の確定

*検地の役割は、何であったのか。

②「慶長13年徳川家康八幡宮新造営棟札」(1608年)

大旦那松平御所家泰、神主朝比奈彦兵衛重家、遷宮師巖井寺、大工木原氏、地元榛葉・安間氏など、以後の造営の流れ

*家康と初代神主芝田彦兵衛の関係、神社と日坂宿の関係は、どうか。

③「寛永19年徳川家光朱印状写」(1642年)と江戸参府

朱印100石安堵、歴代将軍継目安堵、年頭挨拶、将軍御目見の格式

*朱印状の意味するものは、何か。

④「元和4年神道裁許状」(1618年)と京吉田家
幕府の宗教政策、神主法度、唯一神道宗への改宗
*神主法度制定の意味は、何か。

⑤社領民の統制と暮らし
社領民の年貢負担、課役、金融、五人組、宗門改め、神社奉仕など
*神社の経済基盤の実態は、どうであったのか。

⑥国学と和歌
国学四大人、平田派門人、歌人石川依平門人
*遠州国学隆盛の背景は、どうであったのか。

⑦慶応4年遠州報国隊の活躍(1868年)
東征軍への合流、市川口の戦い、招魂社員
*遠州報国隊誕生の背景は、どうであったのか。隊員の苦労談は、どうであったのか。

3 近現代の資料から

①県社八幡神社の指定(1872年)
浜松県から静岡県へ、国家の管理・統制へ

②国家神道の展開
教導職、三條の教則、学校教育との関わり、祈り

③宗教法人事任八幡宮の成立(1953年)
事任神社と八幡神社の統合、現在の取組は

おわりに

神社と地域社会のきずながさらに深まり、地域がさらに発展することを願って。